

発行：自治労津別町役場職員組合 青年婦人部 教宣担当

みなさんこんにちは！4月に入りだんだんと暖かくなってきましたがいかがお過ごしですか？というよりも発行が遅れてしまい申し訳ありません。

それはさておき、ちらほらとインフルも生き残っているようなので体調管理に気を配りながら頑張っていきましょう！！

3月1日に、講師に小野敏明さんを招き賃金学習会を開催しました。学習会では国と津別の比較がされ、ラスパイレス指数は管内ワースト3の97.0%と、とても低い数値であることが再確認されました。またこれまでの給与制度や各種手当の経過等詳しく説明を受け、現状が昔に比べ厳しい状況である事が分かりました。説明の中には具体的な給与表の見方や昇給の流れが確認することができ、分かりやすい学習会だったと思います。

賃金学習会

を開催しました。



認知症サポーターになりました！



3月9日に津別町地域包括支援センターの主任介護支援専門員である丸尾美佐さんを講師に招いて、認知症サポーター養成講座を開催しました。今回、青年婦人部だけでなく、消防や特養に勤務する若者も対象に、青年婦人部12名（谷口さん含）、消防1名、特養7名の計20名が参加しました。

津別町の高齢化率も約38%になり、推定でも認知症の方は213名ほどいるとされています。そのうち特養やグループホーム、病院等の施設にいる方以外は在宅で生活されており、また、認知症という診断を受けたり適切な介護サービスを利用されていない方も多くいると考えられます。役場を訪れるお年寄りも多いことから、認知症がどういう病気なのか知り、対応の仕方を学んだことは、今すぐにも役立つ内容でした。

ちょっとした工夫でお互いが気持ちよくコミュニケーションをとることができますし、認知症であっても・認知症になっても安心して暮らせる町にできたらなと思いました。講師をしてくださった丸尾さん、本当にありがとうございました。

